埼玉県熊谷市における基本計画の概要

計画のポイント

本地域では、ラグビーワールドカップ2019™の会場となり、多種多様な体育施設を有する熊谷スポーツ文化公園を活用したスポーツ・観光・まちづくり分野を支援し、交流人口の増加を目指す。また、医療、福祉関連産業の集積や生産が盛んな農産物及び利便性が向上した熊谷流通センターなどの地域特性を活用し、それぞれの関連分野の牽引事業を支援することでバランスの取れた産業構造・都市構造の構築による持続可能な都市を目指す。

促進区域

埼玉県熊谷市

経済的効果の目標

１件あたり平均49.8百万円の付加価値を創出する地域経済牽引事業を４件創出し、これらの事業が促進区域で1.288倍の波及効果を与え、促進区域で約257百万円の付加価値を創出することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件１：地域の特性を活用すること（①～④のいずれか）】

①ラグビーワールドカップ2019™の会場となる熊谷スポーツ文化公園を活用したスポーツ・観光・まちづくり分野
②医療・福祉関連産業の集積を活用した医療・ヘルスケア関連分野
③生産が盛んな小麦、やまのいも、にんじん等の特産物を活用した農林水産・地域商社分野
④新駅設置により公共交通アクセスの向上した東部地区に立地する熊谷流通センターを活用した流通関連分野

【要件２：高い付加価値を創出すること】

・付加価値増加分：4,984万円超

【要件３：いずれかの経済的効果が見込まれること】

●取引額：5.6%増加　●雇用者数：1%増加
●売上げ：5.6%増加　●雇用者給与等支給額：1%増加

制度・事業環境の整備

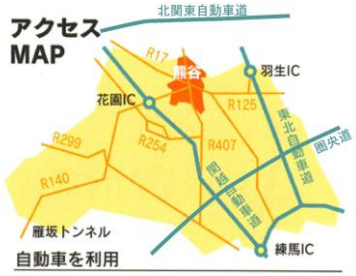
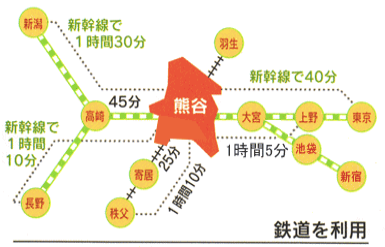
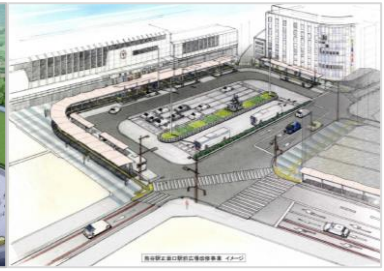
・熊谷市企業立地支援制度の拡充
・地方創生推進交付金の活用による支援
・多様な人材とのマッチングなど企業の人材確保を支援

地域経済牽引支援機関

(公財)埼玉県産業振興公社、熊谷商工会議所、くまがや市商工会、㈱まちづくり熊谷、(一社)熊谷市観光協会、埼玉県健康関連サービス産業会議、ものつくり熊谷、埼玉県産業技術総合センター、埼玉県農業大学校、埼玉県農業技術研究センター、埼玉県立高等技術専門校、学校法人立正大学学園、金融機関

計画期間

平成30年3月28日から平成35年3月31日まで

《促進区域図》

《交通アクセスと整備が進む熊谷ラグビー場・熊谷駅》